



発行所

日本聖公会 東北教区

仙台市青葉区国分町2-13-15

TEL 022-223-2349

FAX 022-223-2387

URL <http://nssk-tohoku.com/>

シリーズ「東北の信徒への手紙」  
**ハレルヤ、主とともに行きましょう**

司祭 ステパノ 涌井 康福

近頃はメールや携帯電話などで連絡を取り合うことが多いくなり、教会の電話、家の電話共に鳴ることが少なくなりました。そんな中で、明らかに何かの勧誘(0120から始まる番号など)以外の、未登録の番号からの電話は「教会への問い合わせかも」と勇んで出るようになっていきます。8月7日にそんな電話がかかってきました。夕の礼拝間近かの時間でしたが受話器を取ると、高齢の男の方で、しかも少し酔っているのか、かなり聞き取りにくい声が聞こえてきます。「俺の〇〇(お袋?)がクリスチャンでよお。一所懸命教会に通ってたんだから俺もキリスト教は好きなんだけどな。」(私)「そうなんです。ありがとうございます。」「それでな、夕べNHKで原爆の特集やってたんだけどな、原爆積んだB29が飛ぶ前に何で牧師が祈ってるんだ。これから原爆落しに行くっていう飛行機のために

キリスト教は祈るのか!」と、急に語調が変わり、こんな思いをぶつけられました。そんなこと言われてもなあ、という思いと、礼拝前に長くなりそうだなという思いが交差し



ましたが、昔のこととはいえ、好感を持っていたキリスト教の牧師が広島に原爆を投下した「エノラ・ゲイ号」出発に際して祈っていたということ、は、かなりショックだったのでしょう。しかも話を続ける

うちにわかったのですが、その方は核兵器反対の運動をされている方の様でした。電話の向こうからは「何でだ!どうしてだ!」という声が響きます。大した知識もないことで困りましたが、「旧日本軍にも従軍僧がいたように、キリスト教国の軍隊には従軍牧師という人たちがいるのです。その牧師は原爆のことは知らなかったんじゃないかな。これから大事な作戦に出るから、乗員と作戦成功のために祈ってくれと言われたら、祈るのは当たり前だったのだと思いますよ。」と答えましたが、納得してもらえません。引き続き「それにな、俺は反対運動一所懸命やってるけど、キリスト教なんかどこも出てきたことねーじゃねーか。平和と平和とか言っても何にもやってねーだろ」とまくし立てられ、「いや、教会だつてやってますよ。核兵器の問題だつて世の中に、世界に向けて反対を表明してます。」このあたりから私も少し熱くなってしまう、しばらく不毛な議論が続いてしまいました。最後には「バカヤロー!死ね!」と電話を切られ、「平和運動をやってる人が、初めて話した相手に死ねとは何事か」と

怒りながら礼拝堂に向かいました。落ち着かない心で礼拝することになりましたが、ふと会話の中で、「(教会の)中だけでやってちゃだめなんだよ。」といわれたことを思い出しました。彼が教会のことをどれだけ知っているのかはわかりませんが、確かに教会の中だけで盛り上がって、何かを達成したかのように思っけてしまっている部分がないわけではないな。と気が付かされました。

聖餐式の最後に私たちは、「ハレルヤ、主とともに行きましょう」「ハレルヤ、主のみ名によって、アーメン」と唱えます。これは教会が目指す場所、またそれぞれが遣わされる場所に「主のみ名によって」出て行くということだと思えます。それは日々の、何気ない日常の中にもあるのです。それぞれが「主のみ名によって」「私が」出て行くのはどこなのかということ、念頭に置きながら「ハレルヤ!」と唱えたいものです。そしてそれが「教会を開いていく」ことにもつながっていくことを信じたいと思います。

(秋田聖救主教会 牧師)

# 盛岡聖公会牧師館・仁王幼稚園の落成式

盛岡聖公会  
学校法人聖公会盛岡こひつじ学園 理事長 ルカ赤坂 徹

盛岡聖公会牧師館と仁王幼稚園園舎は百数年の歴史を共にし、建物は途中で建て直されましたが、震災を経て改築が急がれていました。牧師館はこれまで通り園舎の2階に設計しました。

2019年6月には仮牧師館、仮園舎に引越し、7月からアスベスト除去と解体工事

10月には吉田雅人主教により起工式が捧げられ、予定通り2月末に完成して引渡されました。その頃から新型コロナウイルス感染症が蔓延したため、教区・各教会と幼稚園関係の皆様をお招きする落成式・祝賀会の目途は立っておりません。3月には新園舎で卒園児とご家族、教職員のみで卒園式、4月には同様に入学式を挙行することができました。8月2日の吉田主教巡回口には岩手県でも患者発生があり、主口礼拝後に牧師館と園舎の落成式(祝福のお祈り)を礼拝奉仕者、教

会委員、学校法人理事、監事、教職員に限定して捧げられました。

## 一、牧師館

教会委員会で4人家族を想定して設計し、玄関、事務室、3LDK、バス、トイレ、バルコニーがあります。

## 二、仁王幼稚園

キリスト教に基づく幼児教育の充実と経営の安定を図り学校法人聖公会盛岡こひつじ学園仁王幼稚園が設立されました。子ども・子育て新支援制度の「施設給付を受ける幼稚園」として園舎が設計されました。当園が準防火地域にあつて基本設計が一部変更され、実施設計により建築会社が指名競争入札されました。1



階には玄関、廊下、3保育室に預かり保育室がホールに隣接して設置され、職員室、厨房、幼児用・成人用・障がい者用トイレがあります。2階には会議室、備品倉庫、バルコニーがあります。園庭の遊具を見直し、楽しく安全なスペースを目指しております。全館の冷暖房はGHP(ガスヒートポンプ)で、発電装置が付いていて、厨房と共に災害時の停電に対応して地域社会への貢献を目指しております。

## 三、その他

隣地との境界が確認され、危険なブロック塀を撤去して新たな塀を設置し、門扉のインターフォンで訪問者を確認して開錠します。礼拝堂の玄関に車椅子も通れるスロープ、駐車スペースを設けました。

コロナ感染終息後、皆様に牧師館・園舎の落成感謝礼拝並びに祝賀会にご案内できる口を心待ちにしております。建築事業への募金(寄附金)にご協力頂きました皆様に感謝を申し上げますと共に今後とも、ご支援、ご指導の程、宜しくお願い致します。

## 東日本大震災被災者 支援プロジェクト報告

定期的活動である名取買

物バス支援と水曜喫茶は、新型コロナウイルス感染症防止対策徹底を心がけ、時間短縮して6月から再開し参加者の期待にこたえています。再開を見合わせていた広畑お茶会を、ようやく10月23日から行うことをご相談の上決定し、その口を楽しみに待っています。

東日本大震災から9年6ヵ月が経ちました。世界中で自然災害が相次いで、この前の

大地震、大洪水、大規模火災、東京電力福島第一原子力発電所の爆発事故と放射能汚染、避難と苦悩の現実を押し潰していくことが懸念されます。そんな中、青森県では、日本原燃・使用済み核燃料再処理工場(六ヶ所村)とリサイクル燃料貯蔵(RFS)・使用済み核燃料中間貯蔵施設(むつ市)に原子力規制庁から安全審査合格が立て続けに出され、宮城県では東北電力女川原発2号機再稼働に向けて行政手続

きが着々と進められて遺憾に思います。(司祭 長谷川清純)

## 常置委員会報告9/2開催

### ■主教諮問事項

継続審議の2020年10月1日付人事異動最終案について諮問。本常置委員会はこれについて答申。

### ■常置委員長報告

第103(定期)教区会書記会(9/1)に出席、常置委員会で検討したコロナ渦の中の教区会実施について説明。

### ■主事会議関連報告

各主事からの報告。

また2020年7月16日、

2020年9月1日までの主な会計処理事項について報告。

### ■協議事項

(1) 第103(定期)教区会について  
公示口、日程、会場、諸委員及び報告者、スケジュール等について確認。

### (2) 2019年度教区収支決算について

昨年度の収支状況について、概ね良好に推移したとの説明を受け、これを承認。



### 信仰生活で大切に

### していること「感謝」

郡山聖ペテロ聖パウロ教会  
シリウスのエフレム  
亀井 浩一



主の平和。2017年3月に私はこの教会の門を開け、イエス様との心の係わりを始めました。幼少期は父親の転勤の為、神奈川県内を転々と移動していたことをふと思い出しました。幼稚園を2度転園しましたが、何れも仏教関連の幼稚園で、広く薄暗い線香の香りや、正座をして合掌する静かな空気を、疑うことも知らずに日々送っていました。その頃から神様の存在や目に見えない暖かく優しい力の存在

を、子供心に感じ取っていた気がいたします。

眺めるのが好きだった私は、小学校の頃、いつもの通学路で通っていた神社の坂道で、松ぼっくりがコロコロと転がってくる様子を、いつまでも眺めていて学校を遅刻し、廊下に立たされましたが、廊下でも窓の外の空を眺めながら、自分で想像した神様と心の中で会話していました。(笑)

そんな時代を経て、今気付くとクリスチャンとして信仰生活を送っているのが不思議なくらい、過去の経験とマッチして「ここに来なさい」とイエス様に導かれた様な気がいたします。空を見上げて「感謝」です。

そんな未熟な私も、家庭を持ち、子どもたちも授かりました。再び空を見上げて「感謝」です。長男長女共、教会幼稚園のセントポール幼稚園にお世話になりました。子どもたちもイエス様の御言葉を聞き、教会でのお礼拝を通して、心の教育や決して量ることのできない愛を感じ取ることができたと思います。目を閉じて、手を合わせ、お祈りを捧げている

子どもたちをしばらく眺めていた時、ふと過去の自分を眺めているような軽いめまいの様な感覚になったことを覚えていきます。この瞬間を目撃できたことにも感謝ですね。

神様が私に、これらの経験を授けていただいて学んだことは、どんなに嬉しくても、どんなに辛くても、感謝をもって対応することで自分や他の人たちに真の幸せと心の平安が訪れるのだと教えていただきました。教会では、その様な穏やかな感謝のエネルギーに満ち溢れています。基本的に重要なのは、思いやり、他人への愛、他人の苦しみの気遣い、そして身勝手さの排除ですが、中々それに気付くことは普段の生活ではできないです。せめてほんの少しの感謝さえあれば、それらのタスクはクリアできるとイエス様は言っているのだと思いますし、少なくとも私はそう信じております。いつか子どもたちに、私が歩んできた経験を伝えたいと思います。どんな風に、人が感謝という光のエネルギーで夢を繋いでいったのかを。

### 礼拝堂探検隊

礼拝堂にあるいろいろなもの、その意味を調べてみました。

### (第11回 オルガン-②)

16世紀に頂点を極めたパイプ・オルガンは、ピュリーリタン(清教徒)革命が起

16世紀で実用化されたこの種のオルガンは、しばしば「足踏みオルガン」と呼ばれています。美しい音を出すためには、ペダルをゆっくり、深く、音が揺れないよう交互に踏むことが大切だそうです。

オルガンは、私たちが心から神様を賛美する礼拝に奉仕するためにあります。また私たちの心を静かに落ち着かせ、あるいは元気づける役割もありません。時々、礼拝堂の正面に巨大なパイプが鎮座している教会を見かけることがあります。主役はあくまでも神様であり、準主役はその神様に感謝賛美を献げる私たちの心なのです。その意味では私たちもオルガンも、共に神様に仕える存在であることを心に留めたいと思います。

(教区主教)

東北教区の多くの教会で用いられているオルガンは「リード・オルガン」です。写真は弘前昇天教会にある米国の B. SHONINGER (B. ショニング) 社製オルガンで、一八八二年頃のものです。19世紀半ばにフラン



(オルガン・弘前昇天教会)



### 弘前昇天教会

#### 教会近所に新名所

弘前市に新名所が誕生しました。その名も「弘前れんが倉庫美術館」。歴史あるれんが倉庫が、この春現代美術館として生まれ変わりました。

弘前昇天教会より徒歩1分。佐藤主教様はじめ、教会ゆかりの方々が登場する作品もありましたが、残念ながらこの展示は9月で終了しました。弘前出身の芸術家 奈良美智グッツや倉庫ゆかりのシードル売場も充実していますので、一度お出かけになってはいかがでしょうか？

### ヴァイアール山荘

40年前は信徒やその家族、また日曜学校の子どもたちが集合してキャンプをしたりレクリエーションをして楽しく過ごしたヴァイアール山荘でしたが、時代と共に周囲の状況や建物の老朽化等の問題が起きて今までの活動が出来なく

なりました。ボランティアの信徒の方々が例年変わりなく布団干しや掃除等をして守ってきました。その後持ち寄りたお弁当の交換で交流してきた各教会の方々でしたが、最近くまに注意の看板が立てられ、建築費や目的等と合わせ、今後の維持、運営に影響を落としています。

良い道が与えられるようにお祈りしています。

### 室根聖ナタナエル教会

今年、教会は設立60周年を迎えました。設立当初の様子は、7月号で相澤洋兄が記された通りですが、以来、教会に牧師の定住が一度もないに拘わらず、教籍簿をみますと立教大学BSA会員を含め40名の方々が受洗されました。信徒の多くは室根を旅立ち、様々な教会で活躍されています。そして室根を離れてもなお、母教会に対する並々ならぬ愛情を注いでくださり、教会の活力の元となっています。感謝。

### 仙台聖フランシス教会

新型コロナウイルス感染症予

防のため、フランシス教会日曜学校はお休みが続いています。子どもたちは再開を楽しみにしています。先日信徒のみなさんからひと言ずつメッセージを添えてそんな子どもたちへ手紙を出しました。日曜学校はお休みでなかなか会えないけれど神様のもとに、子どもたちと私たちはいつも共にいるという気持ちで伝わったことと思います。9月27日以降の再開を心待ちにしています。

### 磯山聖ヨハネ教会

磯山の教会はあの大震災により電気も水も人家も無い所になったため、2km離れた国道6号線の所に移るようになりました。そして2017年6月、加藤主教様により聖別されました。その後主教様は磯山を受けもたれ、オルガン、お琴、コーラスの鑑賞会等を開かれ、地元との交流を深めてきました。

2020年3月末に退職されることになりましたが、コロナウイルスにより3月の聖餐式ができなかったため、感謝の言葉をまだ申し上げないでいるのが心に残っています。

**教育・保育G青年部門**  
12月29日の企画について会議を重ねています。そろそろ詳細をご案内できそうです。久しぶりに青年が顔を合わせられる機会になれば！(赤坂聖矢)

### 永遠の平安

- ミリアム 植松 育子 (7月21日・青森)
- マルタ 月永 じゅん (7月27日・青森)
- エリザベス 稲田 せい子 (7月30日・青森)

**お知らせ**  
教区ホームページのトップページ・スライドショー用の写真を募集しています。関心のある方は広報グループのアドレスまでご連絡ください。  
nssktohoku.koho@gmail.com

**10月25日(日)は「社会事業の日」です。社会事業の働きを覚えて祈り、献金をお献げください。**

9月号逝去記念式・逝去者のお名前に掲載漏れがありました。謹んでお詫びいたします。  
「司祭 ルカ 釜菴 東祐」  
2002年9月27日逝去

**10月逝去者記念聖餐式**  
10月6日(火)午前10時  
於 主教座聖堂  
司式 吉田雅人 主教  
説教 越山健蔵 司祭

- 司祭 駒野 義夫 (1946年10月5日逝去)
- 司祭 William Franklin Draper (1999年10月9日逝去)
- 執事 ヨセフ 山本 清司 (2003年10月9日逝去)
- 宣教師 Miss Gladys Gertrude Spencer (1960年10月11日逝去)
- 司祭 ポーロ 滝口 三郎 (1976年10月12日逝去)
- 伝道師 度会 伝吉 (1928年10月15日逝去)
- 伝道師 吉津 愛一郎 (1976年10月18日逝去)
- 司祭 宅間 六郎 (1955年10月23日逝去)
- 宣教師 Miss Bessie Mead (1954年10月25日逝去)
- 司祭 ステパノ 木村 兵三 (1968年10月25日逝去)
- 司祭 F.C.Meredith (1926年10月27日逝去)
- 伝道師 蛸崎 佐久 (1904年10月29日逝去)

